

2025年度 施策マネジメントシート【2024年度実績評価】 作成: 2025 年 6 月 20 日

| | | | | |
|-------|-------|---------------|-------------------------|---------|
| 施策番号 | 施 策 名 | スポーツしやすい環境づくり | 基本目標 心豊かで輝く人と文化を育むまちづくり | |
| | | | 政策名 地域文化の形成とスポーツ環境の充実 | |
| 2-2-2 | 主 管 課 | 生涯学習課 | 課長名 江崎 健一 | 内 線 451 |
| | 施策関係課 | | | |

1. 施策の方針と成果指標

| 施策の方針 | | 対象 | | 意図 | | | | 結果 | |
|----------------------------------|--------------------------|-----------------|---------|-------------------------|----------|----------|----------|------------------|----------|
| 町民がいつでも気軽に自由にスポーツできる環境づくりをすすめます。 | | 町民 | | ・いつでも気軽に自由にスポーツできるようにする | | | | 健康で明るいまちづくりを実現する | |
| 成果指標 | | 説明 | 単位 | 策定時(基準値) | 2023年度実績 | 2024年度実績 | 2025年度実績 | 2026年度実績 | 2026年度目標 |
| ① | スポーツしやすい環境であると思う町民の割合 | 住民意識調査 | % | 83.5 (R3) | 79.8 | 82.1 | | | 95.0 |
| ② | 芽室町内の体育施設利用者数 | 利用実績 | 人/ 年 | 124,734 (R3) | 165,505 | 170,651 | | | 180,000 |
| ③ | 高校生以下の初心者がゲートボールを体験できる機会 | 生涯学習課調べ(教室・講座数) | 回/ 年 | 21 (R3) | 30 | 23 | | | 64 |
| ④ | | | | | | | | | |

成果指標
設定の考え方

①住民満足度として非常に高い評価を得る数値とするもの。

②前期計画で達成できなかった数値を目標とするもの。

③事業機会を30%UPで推進しようとするもの。

2. 施策の事業費

| | 策定時決算 | 2023年度決算 | 2024年度決算 | 2025年度決算 | 2026年度決算 |
|------------|---------|-----------|----------|----------|----------|
| 施策事業費 (千円) | 272,165 | 2,114,015 | 559,223 | | |

3. 施策の達成状況

| (1) 施策の達成度とその考察 | | | | | | | | |
|-----------------------------------|--|---------|--|---|---|---|---|---|
| ①2024年度の成果評価 (前年との比較) | <input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した | 想定される理由 | 体育施設利用人数はR5.7に開設した温水プール、トレーニングセンターを中心に増加した。 意識調査については前年度を上回るものであり、一定の理解は得られていると考える。 | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった | | | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 成果は低下した | | | | | | | |
| ②第5期総合計画後期実施計画(2026年度)の最終的な目標達成状況 | <input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる | 根拠(理由) | 一部施設の閉鎖(総体第1アリーナ、芝サッカーグラウンド)もありながら、温水プール・トレーニングセンターを中心に施設利用人数が増えた。 『一流を見て・聴いて・学ぶ』事業として、新たにレバンガ北海道との提携事業、オール・オリンピックズとの提携など、様々な競技の招致に行った。 ゲートボールの普及については、本町が定める「挑戦の流儀」(R7更新)の達成に努めるとともに、国際的なつながり(R6ブラジル・R7中国・台湾等の発祥の地杯参加)や他地域との連携を含め、GBの普及を進めるものである。 | | | | | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 | | | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい | | | | | | | |
| (2) 施策の成果評価に対する2024年度事務事業総括 | | | | | | | | |
| ①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業 | 各種大会出場支援事業 | | ②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業 | | | | | |
| | ゲートボール普及活動事業 | | | | | | | |
| | スポーツ人材強化・育成支援事業 | | | | | | | |
| | トレーニング施設維持管理事業 | | | | | | | |
| ③事務事業全体の振り返り(総括) | ・「一流を見て・聴いて・学ぶ」事業は様々な一流選手等をお招きし、子ども達等に還元できる事業として継続的に実施する。R6年度は新たに北海道オール・オリンピックと包括連携協定を締結し新たな可能性を広げた。 ・社会体育施設の整備については、総合体育館の暖房工事を終え、温水プールの建替等、周辺の一体的な整備が概ね終了した。(旧プール跡地利用については、Park-PFI構想とともに検討する) ・ゲートボールの再生について、R6年度は発祥の地大会にブラジルから多くの参加者が来町し、大会を盛り上げた。引き続き、若い世代や青年層への普及を重点的に進めるとともに、継続して取り組める環境の整備等について関係団体と引き続き連携・強化を進める。 | | | | | | | |
| | (3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(計画策定時との比較) | | | | | | | |
| 担当課評価 | 総合体育館周辺の工事が概ね終了したなかで、特にトレーニングセンターの利用者が顕著であり、施設利用増に貢献している。 ゲートボール再生に向けた取り組みについては、発祥の地大会のブラジルチームの参加、マチルダや高校生の活躍、北海道教育大岩見沢校との連携等の明るい話題もあるが、引き続き発祥の地として競技振興につとめる。 | | 進捗結果 | A | B | C | D | E |
| | | | | | | ○ | | |

A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して) 前進した
D: (後期実施計画策定時と比較して) 変わらない又は維持した E: (後期実施計画策定時と比較して) 後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

| | |
|--|---|
| 施策を取り巻く状況と今後の予測 | ・「一流を見て・聴いて・学ぶ」事業について、R6年度は新たにレバンガ北海道との連携事業、永原和可那さんのバトミントンクリニックや北海道オール・オリンピアンズとの連携事業を実施した。子ども達等に夢や希望、努力することの大切さを伝えるものとして、引き続き事業を進めていくとともに、幅広い競技の一流選手(OB等)を招致を目指していく。 ・総合体育館周辺の一帯工事は概ね終了したところであり、特にR5.7月にオープンしたトレーニングセンターの利用や子育て支援策として総合体育館内の旧トレーニングセンターを改修したキッズルームの利用者が顕著に増えた。 ・ゲートボール振興策として「挑戦の流儀」を更新(R7～)し、発祥の地としてゲートボール振興を引き続き実施する。 ・中学校の部活動地域移行については、まだ時間を要するところであるが、R7年度中にR8年度から国が示す改革実行期間に合わせたロードマップ作成を行い、計画的に実施していく予定である。 |
| この施策に対して住民・審議会・議会からどのような意見や要望が寄せられ、どのように改善したか。 | 温水プールや温浴施設の利用者からの声が多く届くので、都度指定管理者側と協議・相談しながら対処している。 社会体育施設再整備構想及びPark-PFI構想による運動公園広場利用者の移転について話し合いをしている。 健康プラザの雨漏りの解消、人工芝の更新等の要望 |

5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画後期実施計画期間において新たに取り組むべき課題)

| |
|--|
| ・「一流を見て・聴いて・学ぶ」事業の推進 →各種スポーツ団体等(コンサドーレ・レバンガ北海道、北海道オール・オリンピアンズ等)と連携事業の着実な実施 →様々な種目との交流を通し、子ども達等の夢や希望の実現、努力することの大切さを伝える ・社会体育施設再整備構想における計画的な施設整備。 →健康プラザにおいて、雨漏りや人工芝等の更新を控える。財源等も考えながら実施に向け検討していく。 ・GB再生計画「挑戦の流儀」(R7～)の着実な実施。 ・部活動地域移行(地域展開)の取組 →専門コーディネーターの採用 →R8からの改革実行期間に対応したロードマップ作成 |
|--|

6. 経営戦略会議(庁内評価)

| 評価 | 成果指標等から、前進したと評価する。 | | A | B | C | D | E |
|-------------|--------------------|--|---|---|---|---|---|
| | | 進捗結果 | | | ○ | | |
| 今後の取組に対する意見 | 5に記載の取り組みを進めてください。 | A:実現した B:(後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(後期実施計画策定時と比較して)前進した D:(後期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(後期実施計画策定時と比較して)後退した | | | | | |

7. 総合計画審議会(外部評価)

| 評価 | 庁内評価同様に前進したと評価する。 | | A | B | C | D | E |
|-------------|---|--|---|---|---|---|---|
| | | 進捗結果 | | | ○ | | |
| 今後の取組に対する意見 | ・上美生は体育館に冷房が付いていない。対応できないか。 ・スポーツの習慣づけのため、ラジオ体操など、いろいろな取り組みを情報発信できないか。 ・ゲートボールのルールが難しいため、もっと簡略化できないか。 ・部活動の部費が、高く感じる。何か対応できないか。 ・スポーツを始めるきっかけとして、1日体験等ハードルを低くし、広報できないか。 | A:実現した B:(後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(後期実施計画策定時と比較して)前進した D:(後期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(後期実施計画策定時と比較して)後退した | | | | | |